



南風

3月9日(月)発行

四日市市立南中学校

あしたは もっとたくく 卒業 おめでとう!

卒業式では、皆さん一人ひとりに卒業証書を手渡しました。3年間の中学校の教育課程を修了したとともに、9年間の義務教育が終了しました。卒業おめでとうございます。

皆さんは、「あしたはもっとたくく」という姿を、随所で見せてくれました。また、「自分を大切に、他人を大切に」しながら、日々努力を積み重ねてくれました。

私は授業で皆さんが真剣なまなざしで先生の話の聞き、自分の意見をはっきりと発表する姿を見て、とても嬉しくなりました。小グループでの教えあい・学びあい、人の意見をしっかりと受け止めようとする姿勢、基礎基本はもとより学力向上に向けて日々努力する姿が見られました。

真夏の中体連の大会では、練習の成果を思う存分発揮し、最後まであきらめず自分たちの力を出してくれました。皆さんの表情から、力を出し切ったという満足感が漂っていました。また、文化部の皆さんは、文化祭での発表やコンクールへの出場、作品展への出品などで、素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。

行事テーマ「走奏力」のもと、皆さんの走る力、奏でる力、総合力を見せてもらいました。また、群活動では皆さんはその中心となって力強いリーダー性を発揮してくれました。体育祭では、突然の雷雨で2日間の開催となりましたが、最後まで元気に演技を行えました。学年種目ではみんなで息を合わせ、全員リレーでは最後の最後まで走り抜く姿が見られました。群対抗の大縄跳びでは1・2年生に対して適切なアドバイスを送り、大いに盛り上がりました。文化祭では、さすが3年生という力作がずらりと並んでいました。そして、各クラスが一丸となって取り組んだ合唱コンクール。ステージ上の一人ひとりの表情を見ていると、緊張の中にも「絶対優勝するぞ」という気迫が審査員席に伝わってきました。どのクラスが三泗音楽会に出てもおかしくない素晴らしい歌声でした。皆さんの「自分たちは南中の代表」という自覚が感じられ、この意識はこれからも後輩に受け継がれていくことでしょう。

「挨拶」を大切に



全校集会で、私の高校時代のエピソードを話しました。満員電車の中、大声で「オッス」という挨拶は、初めは恥ずかしかったのですが、次第に慣れ、いつしかそれが当たり前になっていました。そして、それが自分に対する自信となり、少し大げさかもしれませんが四十年たった今でも私の生きる力となっています。皆さんは、これからの人生でたくさんの人に出会います。何よりもコミュニケーションが大切であり、挨拶は人と人とをつなぐコミュニケーションの始まりです。その第一歩である挨拶がしっかりとできる大人になってください。

笑うみんなで福つかむ ~人にも優しく、自分にも厳しく~



皆さんの学年目標です。にこやかな笑顔で挨拶を交わせば、自分の気持ちが相手に伝わり、相手の思いが自分に届けられます。そのような気持ちを持つことによって、人に対して優しく接することができます。それが福であり幸せをつかむこととなります。

一方、自分自身に対しては甘やかさず、常に厳しくあってほしいと思います。これまでは、保護者の方が陰になり日向になり皆さんを支えてくれました。しかし、これからは自分が責任を持って行動しなくてはなりません。そのようなときに、自分を甘やかしては大人として自立することができません。世間の荒波にも飲み込まれてしまいます。自分に厳しくすることで、これから直面する様々な困難に対しても乗り切る力が生まれてきます。自分を奮い立たせる原動力が生まれてきます。これから始まる長い人生では、優しさと厳しさを兼ね備えた大人へと成長してください。そして、常に本校の「あしたはもっとたくく」の精神を忘れずにいてほしいと思います。

卒業おめでとう